

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大戸屋ホールディングス
 コード番号 2705 URL <http://www.ootoya.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 三森 久実
 (氏名) 濱田 寛明

TEL 0422-26-2600

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	15,218	9.0	341	38.0	297	44.5	212	△25.8
24年3月期第3四半期	13,966	8.3	247	△50.9	205	△54.6	285	154.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 260百万円 (△21.8%) 24年3月期第3四半期 333百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	36.58	—
24年3月期第3四半期	49.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,116	2,585	28.3
24年3月期	8,743	2,492	28.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,578百万円 24年3月期 2,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	7.0	550	33.8	500	37.4	250	△16.9	43.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 台湾大戸屋(股)有限公司

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	5,800,000 株	24年3月期	5,800,000 株
----------	-------------	--------	-------------

- ② 期末自己株式数

25年3月期3Q	137 株	24年3月期	137 株
----------	-------	--------	-------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	5,799,863 株	24年3月期3Q	5,799,926 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、12月以降新政権の経済対策への期待から円安の進行、株価の上昇がみられましたが、欧州債務危機や中国の景気減速、電力供給不安の影響等により、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、先行きの不透明感を背景とした消費者の低価格・節約志向が続く中、同業他社やコンビニエンス・ストア等の中食業態との競争が激しさを増しており、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、創業55周年・会社設立30周年という節目の期を迎えており、「人々の心と体の健康を促進し、フードサービス業を通じ、人類の生成発展に貢献する」という経営理念のもと、当社グループのこれからの30年に向け、「大戸屋」を世界的に通用するブランドに育てるべく、努力を続けて参ります。

当第3四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきましては、ショッピングセンターへの出店を中心に「大戸屋ごはん処」直営8店舗、フランチャイズ9店舗を新規に出店いたしました。また、海外におきましては、直営店を米国ニューヨーク州で1店舗、フランチャイズ店をタイ王国に1店舗、台湾に2店舗、中国上海市に1店舗、及びインドネシア共和国に3店舗、新規に出店いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間中に合計25店舗を出店、2店舗を閉店したため、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で341店舗（うち国内直営141店舗、国内フランチャイズ131店舗、海外直営11店舗、海外フランチャイズ58店舗）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は15,218百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益341百万円（同38.0%増）、経常利益297百万円（同44.5%増）となり、台湾の子会社株式売却益312百万円を特別利益に計上する一方、国内外における既存店舗にかかわる固定資産除却損50百万円、減損損失37百万円を特別損失に計上し、法人税等が299百万円となったため、四半期純利益は212百万円（同25.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は、引き続きこれまで大戸屋が培ってきた“家庭食の代行業”としてのブランド力の向上を図るべく、提供時間の短縮などのオペレーションの効率化や接客対応の更なる向上に取り組み、1店舗ごとの質を高め、お客さまから選ばれる店作りに注力して参りました。また、そのための基盤となる人材育成の重要性を認識し、採用からキャリアアップまでの一貫教育体制の整備を進めております。

店舗展開につきましては、国内においては、直営店8店舗（東京オペラシティ店、神田小川町店、新宿イーストサイドスクエア店、金町駅前店、中野セントラルパーク店、シャポー市川店、トレッサ横浜店、要町店）の新規出店がありましたが、社員独立支援制度による直営店2店舗（御徒町南口店、札幌南2条西2丁目店）ののれん分け及び直営店2店舗（宮崎大島町店、おとや西荻窪店）の閉店がありました。また、直営店おとや笛吹川フルーツ公園店が「大戸屋ダイニング」業態に変更いたしました。さらにフランチャイズ1店舗（福岡西新店）の譲受けがありましたが、第2四半期中に再度、同店舗を国内フランチャイズ事業へ譲渡いたしました。

これにより、当第3四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」139店舗、「おとや」1店舗、「大戸屋ダイニング」1店舗の総計141店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は9,958百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益340百万円（前年同期は33百万円の営業利益）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」9店舗（コマーシャルモール博多店、丸亀町グリーン店、宜野湾店、小松沖店、仙台MTビル店、西葛西北口店、上大岡店、モザイクボックス川西店、アズ熊谷店）の新規出店と社員独立支援制度によるのれん分け2店舗がありました。また、国内直営事業へ1店舗の譲渡がありましたが、第2四半期中に再度、同店舗を国内フランチャイズ事業が譲受けました。

これにより、当第3四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」131店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は3,857百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益537百万円（同26.5%増）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第3四半期連結会計期間末現在、11店舗（香港大戸屋有限公司が香港に5店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD. がシンガポール共和国に4店舗、AMERICA OOTOYA INC. がアメリカ合衆国に1店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. がタイ王国に1店舗）稼働しておりますが、第2四半期連結会計期間末に台湾大戸屋股份有限公司を株式売却により連結除外したため、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,245百万円（前年同期比29.9%減）、営業損失183百万円（前年同期は34百万円の営業利益）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、当第3四半期連結会計期間末現在、タイ王国において36店舗、台湾において16店舗、インドネシア共和国において5店舗、中国上海市において1店舗を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は139百万円（前年同期比43.1%増）、営業利益は47百万円（同34.3%減）となりました。

なお、持分法適用関連会社であるBETAGRO OOTOYA CO., LTD.（第2四半期連結会計期間末で連結子会社となり、平成24年8月16日付でM OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. に商号変更）及び大戸屋（上海）餐饮管理有限公司につきましては、当第3四半期連結累計期間において持分法による投資損失31百万円を計上しております。

⑤ その他

その他は、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であり、当第3四半期連結会計期間末現在、株式会社O T Y フィールがメンテナンス事業を、株式会社O T Y 食ライフ研究所（平成24年4月23日設立、平成24年5月1日付で食ライフデザイン株式会社から食育事業に関して事業譲受け）が食育事業を、OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. が当社のプライベートブランド商品（焼魚に使用する魚の加工品）に係る品質管理事業をタイ王国で行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は204百万円、営業利益は16百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金2,079百万円を主なものとして3,247百万円（前連結会計年度末比7.3%増）、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産3,559百万円と敷金及び保証金1,580百万円を主なものとして5,868百万円（同2.7%増）であり、資産合計では9,116百万円（同4.3%増）となりました。これは主に、現金及び預金が増加したためであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、借入金1,036百万円、買掛金791百万円及び未払金627百万円を主なものとして3,067百万円（前連結会計年度末比1.6%減）、固定負債は、長期借入金2,300百万円を主なものとして3,464百万円（同10.5%増）であり、負債合計では6,531百万円（同4.5%増）となりました。これは主に、借入金が増加したためであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,585百万円（前連結会計年度末比3.7%増）となり、自己資本比率は28.3%となりました。これは主に、為替換算調整勘定が増加したためであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、国内外の景況感は引続き厳しい状況が予想されますが、現時点では平成24年11月9日に公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、当社の連結子会社であった台湾大戸屋股份有限公司の全株式を全家便利商店股份有限公司(Taiwan FamilyMart CO., Ltd.)へ譲渡いたしました。これにより、平成24年12月31日現在、同社は当社の連結子会社から除外しております。

この結果、平成24年12月31日現在では、当社グループは、当社と連結子会社8社(株式会社大戸屋、株式会社O T Y フィール、株式会社O T Y 食ライフ研究所、香港大戸屋有限公司、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD.、AMERICA OOTOYA INC.、OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.〔平成24年8月16日付で BETAGRO OOTOYA CO., LTD. から商号変更〕)及び持分法適用関連会社1社(大戸屋(上海)餐饮管理有限公司)により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,653,616	2,079,077
売掛金	557,198	571,661
原材料及び貯蔵品	48,117	61,846
その他	768,466	536,393
貸倒引当金	△1,045	△1,027
流動資産合計	3,026,354	3,247,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,373,161	2,438,080
その他(純額)	1,151,372	1,120,999
有形固定資産合計	3,524,533	3,559,079
無形固定資産		
のれん	37,538	50,899
その他	79,089	61,805
無形固定資産合計	116,628	112,704
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,508,541	1,580,428
その他	567,461	616,609
貸倒引当金	△294	△94
投資その他の資産合計	2,075,708	2,196,943
固定資産合計	5,716,870	5,868,727
資産合計	8,743,225	9,116,679
負債の部		
流動負債		
買掛金	803,573	791,707
短期借入金	—	17,500
1年内返済予定の長期借入金	886,303	1,018,964
リース債務	118,124	142,922
未払金	633,560	627,139
未払法人税等	211,829	94,466
賞与引当金	45,303	31,302
店舗閉鎖損失引当金	4,032	8,556
その他	413,300	334,532
流動負債合計	3,116,027	3,067,093
固定負債		
長期借入金	2,051,210	2,300,758
リース債務	271,715	326,680
退職給付引当金	188,236	192,624
資産除去債務	271,473	272,206
その他	351,811	371,885
固定負債合計	3,134,447	3,464,154
負債合計	6,250,475	6,531,248

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	724,012	724,012
資本剰余金	642,212	642,212
利益剰余金	1,210,043	1,248,214
自己株式	△121	△121
株主資本合計	2,576,147	2,614,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,969	5,559
為替換算調整勘定	△88,366	△41,126
その他の包括利益累計額合計	△83,396	△35,566
新株予約権	—	428
少数株主持分	—	6,251
純資産合計	2,492,750	2,585,431
負債純資産合計	8,743,225	9,116,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	13,966,311	15,218,834
売上原価	5,537,220	6,285,879
売上総利益	8,429,090	8,932,954
販売費及び一般管理費	8,181,409	8,591,158
営業利益	247,681	341,796
営業外収益		
受取利息	2,357	2,198
受取配当金	363	1
協賛金収入	14,081	21,228
その他	14,077	16,243
営業外収益合計	30,880	39,672
営業外費用		
支払利息	50,689	48,092
為替差損	14,567	2,162
持分法による投資損失	6,780	31,920
その他	740	1,969
営業外費用合計	72,778	84,145
経常利益	205,782	297,323
特別利益		
子会社株式売却益	518,888	312,388
その他	8,175	146
特別利益合計	527,064	312,534
特別損失		
固定資産除却損	34,366	50,994
減損損失	35,781	37,659
店舗閉鎖損失引当金繰入額	10,558	8,125
その他	50,063	—
特別損失合計	130,770	96,779
税金等調整前四半期純利益	602,077	513,078
法人税等	328,007	299,816
少数株主損益調整前四半期純利益	274,069	213,262
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△11,814	1,095
四半期純利益	285,884	212,167

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	274,069	213,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,438	589
為替換算調整勘定	57,090	50,230
持分法適用会社に対する持分相当額	1,140	△3,122
その他の包括利益合計	59,668	47,697
四半期包括利益	333,738	260,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,071	259,997
少数株主に係る四半期包括利益	42,666	962

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	8,886,065	3,204,636	1,775,940	97,239	13,963,880	2,430	13,966,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,886,065	3,204,636	1,775,940	97,239	13,963,880	2,430	13,966,311
セグメント利益又は損失(△)	33,878	424,440	34,349	72,656	565,324	△1,599	563,724

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、連結子会社であったBETAGRO OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.の全株式を売却し、連結の範囲から除外しております。また、当第3四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であったOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD.の株式を追加取得し、連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの「海外直営事業」における資産の金額は著しく変動しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	565,324
「その他」の区分の損失(△)	△1,599
全社費用(注)	△316,043
四半期連結損益計算書の営業利益	247,681

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「その他」の区分に含めておりました「海外フランチャイズ事業」について、第2四半期連結会計期間より、セグメント利益の量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内直営事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては35,781千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「国内直営事業」セグメントにおいて、フランチャイズ加盟店の店舗を譲受けました。なお、当第3四半期連結累計期間における、当該事象によるのれんの増加額は、16,784千円であります。

また、「海外直営事業」セグメントにおいて、OOTOPA ASIA PACIFIC PTE. LTD. の株式を追加取得し、当該会社を連結子会社化いたしました。なお、当第3四半期連結累計期間における当該事象によるのれんの増加額は、16,625千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	9,958,866	3,857,704	1,245,762	139,104	15,201,437	17,396	15,218,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	187,486	187,486
計	9,958,866	3,857,704	1,245,762	139,104	15,201,437	204,882	15,406,320
セグメント利益又は損失(△)	340,505	537,049	△183,884	47,765	741,435	16,099	757,535

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	741,435
「その他」の区分の利益	16,099
セグメント間取引消去	△38,370
全社費用(注)	△377,368
四半期連結損益計算書の営業利益	341,796

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった台湾大戸屋股份有限公司の全株式を売却し、連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの「海外直営事業」における資産の金額は著しく減少しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「国内直営事業」及び「海外直営事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、それぞれ、12,283千円及び25,376千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

「その他」セグメントにおいて、食育事業に関する事業を譲受けました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、28,000千円であります。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。